

ローヤルルブニュース

No.158

発行 ローヤル油機株式会社 2007年5月1日

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com HPアドレス <http://homepage1.nifty.com/loyal/>

【焼付き防止剤:スモコン】 スペロ機械工業

1. 機械装置のボルト・ナットのかじり・焼付き防止専用です。
2. 耐熱性： 40～800 の高温まで潤滑性を失いません。
3. 防蝕性：防蝕・防錆効果は良好で、安心してご利用できます。
4. 用途：錆や焼付きを嫌う発電所・化学工場・船舶に。
5. 締付け力を問題にする大型スタッドボルトにご使用下さい。
6. 荷姿：1.5kg缶（在庫有り）



下館物語 18

川の流れに押されて深みにはまり、私は身動きが取れない状態になっていた。下館に来た最後の年で、中学一年の夏のことだった。数年前に父が再婚し、私たち兄妹も母の家に住むようになってから、夏休みに下館に来て過ごす日々は少なくなっていた。

お陰で隣近所にはたくさんの友達に住んでおり、夏休みのほとんどは彼らと海に行つて遊ぶようになっていた。当時流行っていた晒しの六尺襦袢を買ってもらい、小さな身体に巻きつけて意気揚々と泳ぎに出かけていた。

しかし、泳ぎの達人なやつや裕福な家の子供は紅い襦袢を締めていた。私もいつか手くなくて、紅い襦袢を締めることを夢見ていた。少年にとつて、紅い襦袢は夢でありプライドの象徴だった。

夏休みも終わりに近づいた頃、カホチャンとミツチャン

『危機一髪』

は私と妹を隣の鬼怒川に遊びに連れて行ってくれた。川で泳ぐのは初めてだったが、一人で川の中央付近までいった。いつの間にか流れの勢いに押されて、橋脚と橋脚の間の一番流れの速い所に立っていた。水の高さが、胸の付近にまで達していた。足を一歩前に出そうと片足を川床から離すと、身体はズルツと水に持つていかれ、まったく身動きが取れなかつた。下流を見ると、流れは大きく速くなっていた。

一瞬、このまま溺れて死ぬのだろうかという恐怖心が頭を過ぎつたが、同時に海の男のプライド「こんなことで負けてたまるか」が不思議に頭をもたげた。

私は、大きく深呼吸をして川上に向かっていた。二無二泳いだ。息が続かなくなるまで泳ぎ、立ってみた。水はへその高さになっていた。助かたと思つた。

もし私に勇気が無かつたらこの決断は無かつたし、決断が少しでも遅れていたら、私の命は無かつたでしょう。私

あとなぎ

日本オーチス「赤さびのまま1年10ヶ月も放置」という記事が新聞に載っていた。その前は、シンドラ社が整備不良で大きな問題になっていた。当社のモットーは、「機械に愛情を」である。人間に、愛情という潤滑油が無ければ偶像である。機械に、潤滑油という愛情を注がなければ鉄の塊である。機械は、そのために造られたのではない。人の役に立つために造られたはずだ。